

東北日日新聞

本紙毎月十部... 印刷部... 電話... 支店... 本社... 仙台... 盛岡... 青森... 秋田... 岩手... 宮城... 福島... 茨城... 栃木... 群馬... 埼玉... 千葉... 東京... 神奈川... 新潟... 富山... 石川... 福井... 山梨... 長野... 岐阜... 愛知... 三重... 滋賀... 京都... 大阪... 兵庫... 奈良... 和歌山... 徳島... 香川... 高松... 愛媛... 高知... 福岡... 佐賀... 熊本... 大分... 鹿児島... 沖縄...

財界整理時代が好轉し

自發的電燈料値下げ

日本電力、東京電燈の英斷 全日本の大衆に導かれて!!!

日本電力は横濱支店区域の電燈に對し八月一日より一燈一ヶ年一錢乃至五錢の料金を引下げを行ひ、東京電燈は川越支店区域にて一燈二錢乃至三錢の引下げ(實施期は未定)を行ふこととし、逓信省に申請中、王子電軌もまた

表面業績不振を理由に相當額引下げの爲め株主の値下りが減配を容易ならしめてゐるとの同様の意味で事實はこの財界整理時代に直向して却つて料金下げの可能な状態におかれてゐるので前記三會社の場合はその一例に過ぎず現在各方面に存在する料金低下運動は案外急速に解決に近づいてゐるのではないかと見られてゐる

正式に 申請してゐないが荒川以北において若干の引下げをなすべき意圖を當局に具申し出てゐる、然しこれらの区域はいづれも需要家と會社の間に猛烈な値下げ争議が行はれたもので王子電軌の如き現在なほ係争を續けてゐる区域である

最近における料金値下げ運動の傾向は一昨年、富山電氣の電燈争議に端を発してほとんど全国的運動と化した。當時に比較して需要家の「経済的事情が著しく悪化」してゐるためにその運動は極めて真剣であり一方會社側としても

東電平營業所に 奉仕係を新設する

東部電力會社では今回合理し武田平營業所主任は語る經營法として郡山支店區域内の平、四倉、小野新町を新設する事となつた、横濱支店全區域にわたつたのを新設する事となつた、横濱支店全區域にわたつたのを新設する事となつた、横濱支店全區域にわたつたのを新設する事となつた、

東部電力會社では今回合理し武田平營業所主任は語る經營法として郡山支店區域内の平、四倉、小野新町を新設する事となつた、横濱支店全區域にわたつたのを新設する事となつた、横濱支店全區域にわたつたのを新設する事となつた、横濱支店全區域にわたつたのを新設する事となつた、

豊間漁港 修築の陳情

石城郡豊間漁港は現在八十間の防波堤を有するが港内水面積狭くために東南より強烈な波浪が侵入し來り、加へて漂砂のため船舶の出入、イカリをつなぐには絶望の状態にあるとして本縣が明年度豫算に際し漁港修築の事業を計画するのを開き逸早くこれが猛運動を起し十八日志賀村長から明年度を期し、是非共修築工事を行はれたいと小柳知事宛特別の配慮方を嘆願した

料値下

過般來商工省ではガス料金引下げに關し機會ある毎に各會社に對しその引下げを勧誘しつゝあり神戸ガスを始めその他のガス會社も金三十五錢は日本一の高率として來てゐるが京都ガスにものである

平町の仲買商人 生繭數十貫を詐取

石城郡神谷村鎌田岸松本喜ヶ五十丸宛數十貫を詐取し作(四四)は去る十六日より取引をなしてゐた事實平署平町鐵道町二九に於て生繭に探知され目下嚴重取調べをなし同町本田富七外三十名より生繭を購入し販賣し尙ほ時節柄取引者は氣をのたふに五百丸と明記し一

磐城中学校長 郷里近くに榮轉

縣立磐城中学校長唐土齋治氏は大正十二年三月縣立安積高女に轉じ縣下に奉職すること九年三月この間磐城三年三月の間磐城今回奈良縣立郡山中學校長に榮轉されることになつた同氏は語る

五名全部 釋放さる

平町字大館火葬場裏の山林で去る十二日午後三時半ごろ密議中平署員に捕はれた平町十五丁目舊勞農黨員大井川幸隆(二五)外四名のうち二名はさきに某高等學校を放棄されたものであるが同署の取調べ一段落し大井川鴨谷の兩名を除く三名は十七日午後父兄を呼び出し嚴重説諭の上釋放せしめられた

丸新館の まくら探し

當時住所不定山形縣東置賜郡昭田村生れ青野仁(三四)に係る去る四日平町田町丸新館に宿泊せる福島市築町建築業石崎魁の枕元から現金十圓を窃取しその他同様犯罪數件におよんだ窃盜事件公判は十七日午後三時から平支部に開廷中島裁判所長係りて徵役二年半を言渡された

謠曲大會

わき師の泰斗來平中町應匠町鳥越二氏主催のよう曲大會は来る七月三日午前九時より谷口樓に於て開催されるが當日は觀世流わき師の泰斗野島信氏及び同氏の門下より古川順之助野口友彌の兩氏も來會される筈であるが盛會を豫想されてゐる

残る兩名は昨十八日出版法違反として書類のみ送檢され釋放された、尙ほ一團は各炭礦の整理に對する對策を協議した外何等の計畫を行はずといつてゐる

四倉市場

白まゆ三十四掛 四倉まゆ市場十八日の總出荷は白まゆ一千五百三貫黄まゆ七百三十二貫で相場は左の如く白三十四掛掛黄三十三掛掛である

舊勞農黨員 五名全部 釋放さる

平町字大館火葬場裏の山林で去る十二日午後三時半ごろ密議中平署員に捕はれた平町十五丁目舊勞農黨員大井川幸隆(二五)外四名のうち二名はさきに某高等學校を放棄されたものであるが同署の取調べ一段落し大井川鴨谷の兩名を除く三名は十七日午後父兄を呼び出し嚴重説諭の上釋放せしめられた

丸新館の まくら探し

當時住所不定山形縣東置賜郡昭田村生れ青野仁(三四)に係る去る四日平町田町丸新館に宿泊せる福島市築町建築業石崎魁の枕元から現金十圓を窃取しその他同様犯罪數件におよんだ窃盜事件公判は十七日午後三時から平支部に開廷中島裁判所長係りて徵役二年半を言渡された

蒲田の名映畫

續篇「母」完成

近日封切さる

鶴見祐輔氏の原作「母」を映画化して蒲田のファンを熱狂させた野村芳亭氏は同じ顔振れで違つた筋の母性愛萬唱劇を製作續篇母として近く世に問ふことになつたが藝者秀二にふんする川出芳子嬢はそれに就いて次の如く語る……

藝者と云へば世間から一概に男をだます卑しい女のように思ひますがこの秀二は決してそんな女ではなく、また必ずこの秀二のやうにおとなしく上品な藝者衆も世に多いことと思はれます。

近所に住んでゐる早川夫妻(高田稔、八雲恵美子)は秀二の藝者であることなどは少しも考へてゐずたゞ温順な女として清い交際を最後まで續けて何等恩怨のない秀二のため心から同情してゐます。藝者とは云へ秀二の役は一見上品な奥様風の性格を見せ、それでゐて絶えず何處か淋しい点がなければいけないのです。

この秀二といふ女は早川の許へ三代子(藤田陽子)を預けておいて大阪へ去つたものゝ矢張り我が子戀しさに突然上京して来るなど、眞の母性愛といふものが表はれてゐると思ひます、しかし流

石に早川夫婦の厚意には心から感謝してゐるので三代子のことに就いては一切何も云はず總て早川達(云ふまゝ)に愛兒の處置をするのです。

「あの子の事に就ては妾から今更ら何事も云へた義理ではございませぬ」と秀二が云へば早川は「秀二さん私達夫婦への義理立てなら無駄なことです。一番大事なのは貴女の決心です。私達夫婦はあの子の幸福のためなら……向ふへやれば博士の令嬢として立派に世の中に出来る三代子です」と云ひます。

生みの母、育ての母に對する情愛があふれ出て観客の方にも泣いて頂けたらうと思ひます。一体この秀二は自分が生んだ三代子なのに遂に最後まで抱けず離れて住み、また村田(島田嘉七演)とも一緒にいれずにあるのも面白く、却つて哀愁をよつて秀二の母性愛がよくなるかはされるだらうと思ひます。

監督は前の「母」と同様野村芳亭先生で高田稔、島田嘉七、新井淳、瀧田静江、八雲恵美子、藤田陽子等の皆様が出演いたします。

口腔歯科治療

平町土橋通り
原歯科醫院
電話三一三番

●行興恩謝念記回二第年週五十館開●

●十九日より●

貝がら一平

日活超々大作映畫
光岡龍三郎・酒井米子 主演

第三篇より完結篇まで全部上映
暗殺團新撰組の兇刃に天津あたりの街端れはかなく散つて行くらしい澤井轉を乗せた軍鶏籠は早や逢坂山を過ぎ打出ヶ濱の湖水の波は寒月を堪てその血煙りをまつてゐる

愛人

栗島すみ子 主演
松竹キネマ特作現代劇

さんさ時雨
日活松竹 主演
林長三郎 主演
電話四六六 平館

▲時計の病氣は大谷へ
如何なる病氣も直る……
優良なる器械で安く
殊に學生諸君には元價で提供す

大谷時計病院
平三 電話十九番

警備炭礦・最優等炭
石炭 正味十貫目 一俵金六十錢
東京瓦斯コークス一等品

◆玉炭 一箱金貳圓也
石炭ハ目方ノ正確ヲ期スル爲メ正味十貫目ヲ一俵ノ標準ト定メマシタ
配達迅速(電話二三七番)
警備炭礦販賣代理店

阿部石炭商店

パラソルと日傘

時代の流行を代表する柄合旅行に、郊外の散策に、装身具の御用意は「ツルヤ」へ!!
可愛らしいお子様方のために小さな日傘も
明るい夏の帽子
平町四丁目
ツルヤ
電話一四〇

高久病院

電話五二三番

内科、小兒科 醫學士 高久 忠
外科、花柳病科 新瀨醫學士 赤羽 清
耳鼻咽喉科 藥劑士 佐竹 菊雄
レントゲン科

◆現代醫藥界ノ驚異
飲マズニ治ルコロリサ浸透療法
肺、ロクマク、腹膜炎、リウマチス、神經痛治療藥
外用コロリサ

○論より證據百聞一見に不如
醫學博士・内野先生實驗 醫師：吉松先生發見
定價 金四拾五錢、金九拾錢 送料(内地十二錢 海外四十五錢)
特大瓶醫家用：二圓七十錢

平町一丁目
大平屋藥舖
電話六四二番

回實感希望者は郵券廿錢封入左記本舖へ申込かれ
試用藥と浸透療法の小冊子を郵送す
大阪市此花區吉野町一丁目 吉松醫院製劑部

和夏の家具

花 春 同優等賞受領
たひら正宗 一等賞受領 品評會
塩屋最上醬油醸造元

山崎合名會社
平町土橋 電話一〇番 二七番
東京支店
電話下谷五七二番